

「生きていきやすれ」

汚い水と枯れた自然。ここにクラゲの生きていきやすさはありません。クラゲの生きていきやすさは目に見えますが、人の生きてやすさは可視化できないこともありま
す。もしかしたら、その人がいるところは、その人にとって、絵にしたらこんな感
じなのかもしれない。そう思って描いたものです。
(法学部3年 永田あづみ)



「第九の波」

とくにお気に入りの絵の模写です。水の透明感を伝えたい。
(総合政策学部2年 押山大輝)

